

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
応用栄養学Ⅱ	2年次	必修	講義	2単位（30時間）	大友 崇
授 業 概 要					
<p>人の一生を通して発育、加齢や妊娠などの各ライフステージにおける身体の構造変化、生理学的・生化学的な代謝の変化を学び、それらに基づいて各段階における適切な栄養ケア・マネジメント（栄養管理）の基本的考え方を習得する。更に適切な評価、判定を行った上で身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の方法を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージにおける身体状況や栄養状態に応じた栄養管理について理解する。 健康の維持・増進及び疾病予防のために栄養素の機能等を十分理解し、健康に及ぼすリスクの管理について基本的な考え方を説明できるようになる。 					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	成長・発達・加齢①				入江 由紀
2	成長・発達・加齢②				
3	妊娠期①				
4	妊娠期②				
5	妊娠期③				
6	授乳期				
7	新生児・乳児期①				
8	新生児・乳児期②				
9	成長期（幼児期・学童期・思春期）①				
10	成長期（幼児期・学童期・思春期）②				
11	成人期①				大友 崇
12	成人期②				
13	成人期③、更年期（閉経期）				
14	高齢期①				
15	高齢期②・まとめ				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 教科書で予習をし、わからない単語など事前に調べておくことをすすめる。月曜試験に対しては事前の学習は勿論のこと、実施後においても再度学習し、確実な知識を習得すること。 疑問点は進んで自ら調べ、教科担当に確認し正しい知識としておくこと。 月曜試験は基本的に授業内容について問う。 月曜試験内容は定期試験にも出題されるので、月曜試験をファイルに綴じ、復習を欠かさないこと。 					
評 価 方 法					
科目修了試験、月曜試験で総合的に評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>[教科書] カレント 応用栄養学 辻悦子（編） 建帛社 NEXT 応用栄養学実習 木戸康博、小林ゆき子（編） 講談社サイエンティフィック 日本人の食事摂取基準（2020年版） 厚生労働省 第一出版</p>					